

富士宮西ロータリークラブ 会報



Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

NO. 33 通算 1485 号 2022年5月20日(金)

ゲストビジターの紹介

ゲスト・ビジター：なし

会長挨拶

会長 今村 一徳 君

・欠席の為、会長エレクト： 矢部 秀樹 君 代読



本日は所要にて例会参加できなくて、申し訳ございません。先週 14 日 (土) の 12 クラブ新旧会長幹事会議のご報告をさせていただきます。いよいよ新旧の切り替えの時期が来たと感じました。12 クラブ全

ての新旧会長幹事の報告がありました。発表をお聞きしていると、新会長幹事は、どこか緊張感と意気込みを感じましたが、半面、旧の会長幹事の発表は皆さん満面の笑顔で楽しい報告が多く見受けられました。私も楽しい報告をさせて頂きました。太田ガバナー補佐は満面の笑顔でしたが、やはり対照的に富士宮ロータリーの次期の佐野ガバナー補佐はどこか緊張の笑顔でした、なぜか次期ガバナー補佐事務局の前島様は満面の笑顔で、楽しく交流会を仕切っておりました。私も、他クラブの会長幹事さんと有意義な交流が出来て、これがまさにロータリーの醍醐味と感じ、大変楽しい新旧の交流会に参加させて頂きました。当クラブの次期の会長幹事も、大いに頑

張って頂きたいとおもいます。

幹事報告

幹事 矢部 英樹 君

別紙幹事会報告を参照ください

出席報告

☆は出席免除者

欠席者 ☆細野義男 ☆外木規之 仲亀秀樹
渡辺弘光 今村一徳 大谷裕也
石田道彦

	計算会員数	出席	欠席	M U	比率
今週	24	19	7	0	79.1%

スマイルボックス

* 5月14日に金婚式をむかえました。

遠藤 壽男 君

* 雨と晴れが交互で、洗車もできないことが辛い
です。

若林 眞治 君

* 施設内でコロナ発生。現在は、終息しました。

矢部 英樹 君

* 久しぶりです。

加藤 康雄 君

* おかあちゃんの誕生祝、ありがとう！。

遠藤 克彦 君

お祝・記念日

● 夫人誕生日：遠藤 克彦 君

夫人 智子さん (5, 20)

● 創業記念日：外木 規之 君 (S22, 5, 20)

石田 道彦 君 (H 7, 5, 26)

【会報委員会】 委員長：伊原謙治 委員：仲亀秀樹 片岡博昌 石田道彦 近藤憲司 斉藤邦男

本日のプログラム 【クラブ協議会】

1) 細則・定款変更協議及び認証



細則・定款変更委員会
委員長：加藤 康雄 君

変更箇所の説明を受け、
その後に審議し承認さ
れました。

2) 地区研修協議会出席者報告

★ 会長エレクト： 矢部 秀樹 君



4月24日(日)にリモート
にて開催されました地区
研修協議会ですが、当日
急な所用が生じたため参
加出来なかったことから、
今回は報告ではなくテキ
ストを拝見した上でのコ
メントを報告変わる発表
とさせていただきます。

次年度 RI 会長は、ジェニファー・ジョーンズ氏の2022—2023年度テーマ講演の中で、其々のクラブ会員が何を求めているかを聞き、果たしがいのある責任を其々のクラブ会員に与える事が必要とされ、其々の会員が、其々の会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕も出来ません。其々の会員の気配りが無ければ、それぞれの会員にとって心地良い場所に成り得ない様です。このことは現在沢山のクラブが直面している新規会員確保以前に、既存会員のクラブ活動への継続参加が会員増強及びクラブの体制強化に繋がると思われました。当富士宮西ロータリークラブにおきましても、新会員の方々の確保が難しいのも事実です。其の為次年度はクラブ活動参加に対する負担軽減を考え、2021—2022年度にクラブの例会参加形態を今村会長のもと改革施行させて戴いております。先ずはリモート参加で、会員雄例会参加に対する時間負担の軽減を次年度より開始していくよう着手させて戴きました。私は、地区研修・協議会のための冊子を拝読させて戴いたことで、地域貢献型の奉仕も大切な事とわかりますが、先ずはその地域貢献型の奉仕の充実より先に、自身の所

属させて戴いているクラブの内部強化のための施策を優先するべきだと思いました。最後に7月1日より新しい時計がスタートしますが、この時計を決して止めない様に、富士宮西ロータリークラブを盛り立てていきたいと思っておりますので、全会員の皆様、何卒宜しくお願い申し上げますことを地区研修・協議会報告と返させて戴きました事を御理解ください。

★ 幹事エレクト： 石川 俊洋 君



現在どこのクラブもメン
バー減少で困っている、
若いメンバーや、女性メ
ンバーをいかにして勧誘
するか課題となっている。
やはりクラブ運営にあた
っても、少ない人数だと

事業も満足に出来ず本来のロータリークラブの運営が出来なくなる。各クラブ情報を共有して会員増強に努める。地区、グループごとの合同事業については、静岡第2グループは、駿河湾の海岸清掃と確定されました。詳細は追って発表があると思っておりますが皆様の参加協力をお願いいたします。

★ 次期公共イメージ向上委員長：加藤 康雄 君



分科会の主な内容は次の
とおりです。 第262
0地区は、退会者が多い状
況であるため、まずは会
員維持に注力する。また、
例会などの満足度と会員
維持には密接な関係があ
る。 RIの2022—

2023年度の主要優先事項である D (多様性)、E (公平さ)、I (インクルージョン) は、会員増強そのものである。

★ 次期会員増強・維持委員長：早川 英寿 君



先ず、会員増強のため
に当委員会は、ロータ
リーとその他の奉仕団
体との差別化を進める。
その為には行った奉
仕活動は、公器を使用
し、活動の状況を

新聞等に事前にお知らせを行い、出来るだけ取材に来て頂くようにする。(当クラブでは、ロータリーカップ、ミツバツツジ植樹、図書の寄贈、市長卓話、ポリオプラス活動、外部卓話等) ホームページを通じて当クラブの活動を公表する等、市民の方へほかの団体とは違うことをアピールし、興味を持ってもらうようにする。イメージが浸透することによってロータリーへの入会のきっかけになることが期待される。またITを利用した例会を開くようにすることで、時間が取れずに入会を躊躇っている方たちにも、入会の機会を広げる事が出来る。入会している方には、ロータリーの知識をさらに深めるためにも、マイロータリーへの登録100%を目指したいので、登録方法がわからない方には積極的に支援する、また地区ロータリーの方でも相談に応ずるようになっている。

★ 次期ロータリー財団委員長： 岡村 吉彦 君



活動は、ロータリーのプロジェクトへの参加と寄付を通じ、それを支援する計画を立案し、実施する事です。

・年次基金寄付 US\$150/人・年(3年後の奉仕活動の為に)。
・ベネファクター各クラブ1名以上達成。
・ポリオプラス基金への寄付 US\$30/人・年(カード加入を利用する)。
・ロータリーカード(個人・法人・クラブ)加入促進。
・全てのクラブが、地区補助金を活用して地域に貢献。
・グローバル補助金を活用し国際貢献。

★ 米山記念奨学委員長： 岡村 吉彦 君

例会に財団メンバーが訪問し研修を実施予定。米山奨学会では交換学生のホスト受入れを勧めている。米山記念館の組織上の立ち位置が変わる。

★ 次期奉仕プロジェクト委員長：伊原 謙治 君



地区研修協議会にオンラインで参加いたしました。私の担当の奉仕プロジェクト分科会では、特段の話はなかったのですが、ある山梨のクラブの方が、釜無川と

笛吹川の合流地点辺りから

富士川として駿河湾に抜けるまでの長い河川敷を静岡、山梨両クラブで地域の人を巻き込んでの清掃活動をしたらとの話が興味深かったです。

★ 次期クラブ研修リーダー：竹田 浩富 君



次年度研修委員長になっております、そしてクラブ研修リーダーにもなっています。という事で4月24日にzoomで行われた、地区研修協議会での分科会は「RLI」に登録となりました。当日のzoom

ではパソコンの調子が悪く、ほぼほぼ内容が聞き取れませんでした。これまで「RLI」は近藤会員にお任せしておりましたので、あまり内容が分かっておりません。そこで近藤会員にこれまでの資料を頂きましたが、それでもよく分かりません。そこで、今日は「RLI」とは、という事を発表したいと思います。「RLI」とはロータリーリーダーシップ研究会の事です。ロータリーリーダーシップ研究会は質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。但し、「RLI」はRIの正式なプログラムではありません。又、RIの管理下にもおかれていませんが、RIが承認している多地区合同のプログラムです。「RLI」の目的、「RLI」の使命は将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンにボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にしてクラブの活性化に繋げて行く必要があります。「RLI」の目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。次に「RLI」はパート

I・II・III・卒業コース・DL養成コースでワンセットになっています、ここまで終了しますと、DL資格取得となります。DL養成コースはパートI・II・IIIカリキュラムの延長にあり、DL養成コースまでが「RLI」のコースとなっています。各セッションで学んだことの集大成として、また今後のクラブの活動に於いて、組織の基礎知識を広め、理解を深め、意識を高めるこの手法はクラブ内や会社、地域社会等の色々な会合でも活用できるものです。要するに「RLI」とは活用による人材の育成と、次期リーダーの育成が目的の様です。



国際ロータリークラブ第2620地区
2021～2022年度 地区大会

1日目 甲府記念日ホテル に於いて



当クラブは「ロータリー賞」を受賞した



今村会長、竹田次期副会長が2日間出席した

2日目 甲府 県民文化センターにおいて



石川次期幹事、大谷次期副幹事、事務局が出席



小林ガバナーより挨拶



武田信玄や姫に扮するスタッフによるお出迎え

「ロータリー賞」とは・・・

ロータリー賞を達成するには、25の目標を確認し、少なくとも13を選択し、それらを達成した上で、ロータリークラブ・セントラルからその達成を報告する必要があります。